

放送分野の研究開発

◆ デジタル放送システムの標準化

- デジタル放送に使用する番組配列情報標準規格 STD-B10
- デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様） STD-B21
- デジタル放送におけるMMTによるメディアトランスポート方式標準規格 STD-B60
- 高度広帯域衛星デジタル放送用受信装置標準規格（望ましい仕様） STD-B63
- 地上デジタルテレビジョン放送運用規定技術資料 TR-B14
- BS/広帯域CSデジタル放送運用規定技術資料 TR-B15
- 高度広帯域衛星デジタル放送運用規定技術資料 TR-B39

◆ スタジオ設備の標準化

- 映像・音声・データ独立型単一ストリーム形式による番組制作用IPインタフェース標準規格 STD-B73
- 映像・音声・データ個別ストリーム形式番組制作用IPインタフェースにおけるARIB STD-B73で規定されるデータ構造を持つRTPストリームの運用標準規格 STD-B74
- 映像・音声・データ個別ストリーム形式による番組制作用IPインタフェース標準規格 STD-B76

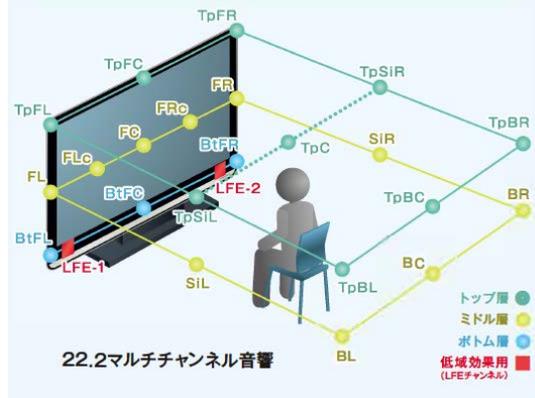
◆ 素材伝送システムの標準化

- 超高精細度テレビジョン放送番組素材伝送用可搬形準マイクロ波帯OFDM方式デジタル無線伝送システム標準規格 STD-B75

※策定／改定時期：2019年8月～2020年7月

超高精細度テレビジョン放送

解像度	
2 K	HDTV(現行) 約200万画素 (1,920×1,080) = 2,073,600 約2,000 = 2K
4 K	2Kの4倍 約800万画素 (3,840×2,160) = 8,294,400 約4,000 = 4K
8 K	2Kの16倍 約3,300万画素 (7,680×4,320) = 33,177,600 約8,000 = 8K



HDR画像とSDR画像



(映像提供: NHK)